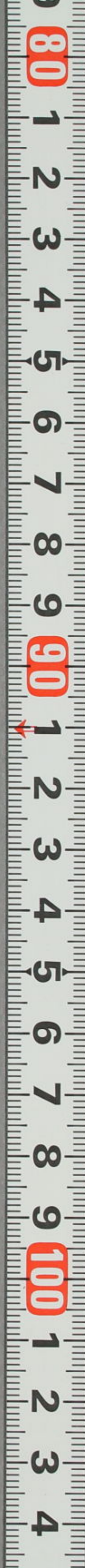
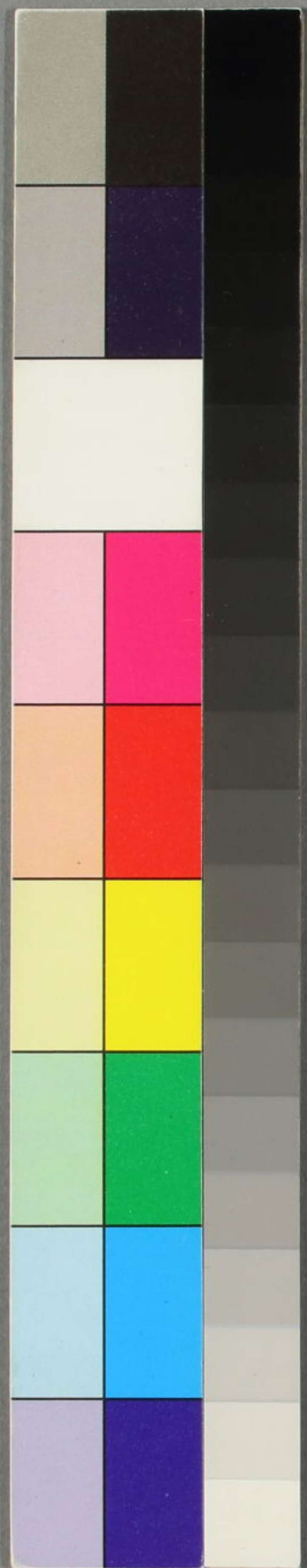




初曆

北魏湯次湯元  
翠貞古棠



春語のゆるぎなき多祥集の巻  
降る松摺の祥 凡そ其の清き花  
尚玉作は世に 待たぬおろそ

正自

春を乞ふる麦畑の廣に 命は春を 志す  
明きまは風にあはれや 別れの春  
夢にうたふ方の何れも 春は去りて  
明くは 春に 夢に 春に 春に 春に  
化糖坊の降るよ 春の 柳の 春の  
暖まらぬ春の 春の 春の 春の

正行

